



国指定史跡

# 置塩城跡

姫路市夢前町宮置



II 郭軒平瓦



I 郭軒丸瓦

I 郭とII 郭の中央部からは16世紀後半の瓦が大量に出土しました。瓦葺の建物が建っていたと考えられます。



II 郭青花碗



III 郭青磁酒海壺

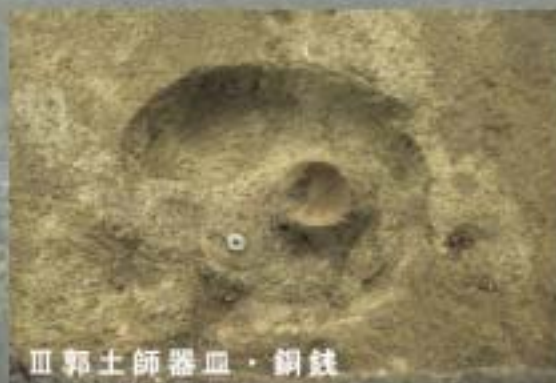
中国産の青磁・白磁・青花磁器や天目碗などが出土しています。大半は16世紀中頃以降のものでした。



VI 郭備前焼掘鉢



V 郭鍔（小札）



III 郭土師器皿・銅銭

国指定史跡 置塩城跡  
 2007(平成19)年3月2日  
 姫路市埋蔵文化財センター  
 Himeji City Buried Cultural Property Research Center  
 〒671-0248 兵庫県姫路市西郷町北414番地1  
 TEL (079)252-3950 / FAX (079)252-3952  
 URL <http://www.city.himeji.hyogo.jp/maibun-center/>  
 E-mail [maibun-center@city.himeji.hyogo.jp](mailto:maibun-center@city.himeji.hyogo.jp)



置塩城跡は、夢前川の東側、標高370mの城山山頂に位置します。規模は東西約600m、南北約400mあり、播磨最大の山城です。発掘調査では庭園を伴う礎石建物や天守的な性格の瓦葺建物などが発見されており、播磨における拠点的な城郭であったと考えられます。

文明元年(1469)に赤松政則が築城したとされ、戦国時代には播磨の守護であった赤松氏の本城でした。ただ、本格的な築城は16世紀後半以降と考えられます。現在も残る多くの遺構や遺物はその頃のもので、天正(1573~1592)年間には廃城となりました。

姫路市埋蔵文化財センター



### Ⅲ郭 (伝三の丸)



Ⅲ郭庭園

庭園を伴う石組基礎の礎石建物や門などがありました。発掘調査では火災や屋敷内改変の痕跡が確認されています。また、北側では鍛冶炉なども見つかりました。



Ⅲ郭石組基礎



Ⅳ郭建物礎石



Ⅰ郭埴列建物

### Ⅰ郭 (伝本丸)



Ⅰ郭埴列



Ⅰ郭西石壇



Ⅰ郭石壇

城内最高所に位置します。西端と南端中央部で櫓状の建物が発見されました。南端中央部のものは基礎を埴瓦で区画しており、天守に似た建物であった可能性があります。

## 置塩城跡 案内図



### Ⅱ郭 (伝二の丸)



Ⅱ郭建物雨落溝

城の中央に位置します。立石のある庭園と石組の雨落溝を伴う礎石建物が確認されました。御殿など格式の高い建物があったと考えられます。



Ⅱ郭庭園立石



Ⅵ郭大石垣



Ⅳ郭Ⅰ郭間の石垣

### 交通のご案内

#### バス

- ・JR姫路駅より神姫バスで約30分、「宮置」バス停下車、北東へ徒歩約25分で登山口へ。

#### 自動車

- ・中国自動車道福岡インターチェンジ下車、南西へ約16kmで登山口へ。
- ・山陽自動車道姫路西インターチェンジ下車、北東へ約11kmで登山口へ。

※登山口より山頂までは徒歩約50分。

